

第三次多摩市子どもの読書活動推進計画との関係図

第三次多摩市子どもの読書活動推進 施策	第三次多摩市子どもの読書活動推進 目指す効果	次期計画で関係のある施策(2024年12月時点)
1 本の情報提供	子どもや、子どもの読書に関わる人たちが、本の情報を得て、本と出会う。	7 本に親しむ機会の充実 8 子どもが自分から読みたくなる環境づくり 9 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供
2 市立図書館・学校図書館のPR、利用指導	子ども・教職員などが、主体的・積極的に市立図書館・学校図書館を活用する。保護者をはじめ周囲の大人が市立図書館、学校図書館について理解を深め活用するようになる。	7 本に親しむ機会の充実 8 子どもが自分から読みたくなる環境づくり 11 多摩市立小中学校への協力・支援・連携
3 おはなし会、イベントの充実	身近に行っているおはなし会等をはじめ、啓発を目的とし適宜開催する行事・イベントをとおして、子どもが本・図書館に興味を持つ。子どもに関わる人たちが交流する。	7 本に親しむ機会の充実 8 子どもが自分から読みたくなる環境づくり
4 保護者への働きかけ	保護者が読書の楽しさを知る。また、保護者が子どもに読書の楽しさを伝える。	7 本に親しむ機会の充実 8 子どもが自分から読みたくなる環境づくり 9 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供
【重点施策】 5 蔵書の充実・活用	市立図書館・学校図書館及びさまざまな関係の蔵書を充実・活用することにより、子どもと子どもの読書に関わる大人が、調べもの学習も含め多様な本と出会う。また、地域の歴史や文化を知ること、ふるさととしての意識が高まる。	8 子どもが自分から読みたくなる環境づくり 9 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供 11 多摩市立小中学校への協力・支援・連携 12 電子資料を含めた蔵書の充実と活用促進 14 地域資料等の活用による課題解決支援や地域文化の継承
6 読書コーナー・絵本コーナー等の設置、充実	子どもたちが、明るく楽しくまた来たいと思えるようなスペースで、本に親しむ。	7 本に親しむ機会の充実 8 子どもが自分から読みたくなる環境づくり 9 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供
【重点施策】 7 学校図書館の環境整備及び機能の充実	学校図書館が有する3つの機能、「読書センター」「学習センター」「情報センター」機能が向上することにより、子どもたちが、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニングの視点からの学び)を効果的にすすめることができ、また居心地のよいスペースで読書活動等を楽しむ。	11 多摩市立小中学校への協力・支援・連携
【重点施策】 8 市立図書館の整備・機能の充実	資料情報、図書館職員、施設環境の三要素が整った新本館(中央図書館)が建設され、各地域館の運営と連動することにより、全市をおおう図書館サービスのネットワークが活用でき、市民への資料情報提供サービスが充実する。	1 だれもが利用しやすい環境の整備 6 読書バリアフリーの推進 18 各館の機能強化・運営体制の整備
【重点施策】 9 支援の必要な子どもたちへの取り組みの推進	心身に障がい等のある子ども、何らかの理由で学校に登校していない子ども、自ら読書をするには周囲の支援が必要である子どもも、多様な本と出会うことができ、読書活動を楽しめる。またその子どもの状況や置かれている環境に関わらず、主体的、積極的に学習し、能力向上を図ることができる。保護者への情報提供ができる。	7 本に親しむ機会の充実 9 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供 10 子どもに関わる団体・個人への協力・支援・連携
【重点施策】 10 担当職員による児童サービス・ティーンズサービスの充実	児童・ティーンズのニーズを把握し、より効果的なサービスを提供できる。	9 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供 18 各館の機能強化・運営体制の整備
11 学校図書館司書・司書教諭・担任等の連携による読書活動の効果的推進	学校において子どもたちが適切な助言・指導を受けることにより各々の興味や関心、発達段階に応じた本に出会い、また読書活動を広げられるよう、学校図書館司書・司書教諭・担任等、その子どもに関わる指導者が連携を図る。	11 多摩市立小中学校への協力・支援・連携
12 職員の育成・研修体制の整備・情報交換	子どもがより質の高いサービスを受けるために、職員が研修や情報交換の場をとおして、専門性を高める。	21 職員の専門性向上と関係機関との情報共有の促進
13 読書活動・ボランティア活動の支援	図書館が読書活動に関心のある市民の活動を支援することで、あらたな人材が育つ。また、ボランティアが市立図書館や学校等で活動することで、子どもが読書活動の楽しさを知る機会が増える。	10 子どもに関わる団体・個人への協力・支援・連携 20 ボランティア活動の促進
14 図書館の相互連携と人材と組織をむすぶネットワークづくり	子どもがより広い情報・資料を得るために、職員がネットワークを通じて、より多くの情報を得て、子どもの読書活動に活かしていく。また、子どもがさまざまな大人から読書を支えてもらうために、地域や子どもの読書活動に関わる人々がつながり、支援する。	13 多様な情報源を活用したレファレンスサービスの提供・充実 21 職員の専門性向上と関係機関との情報共有の促進